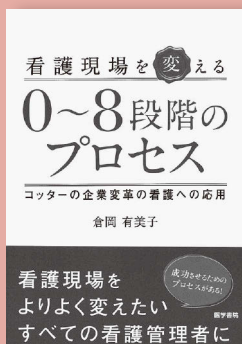


V 今月の 新刊紹介



看護現場を変える 0~8 段階のプロセス コッターの企業変革の看護への応用

著：倉岡有美子
発行：医学書院
定価：本体 2500 円＋税

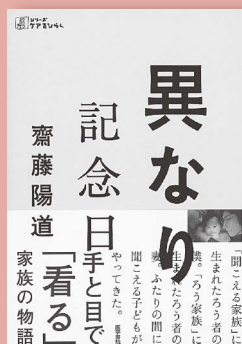
経営者の変革バイブル『ジョン・コッターの企業変革ノート』を看護現場に応用できるよう解説した「看護現場の変革ノート」。著者はリーダーシップを「変革する力」と位置づけ、コッターの理論を基に看護管理者への教育を積み重ねてきた。本書は、その経験を盛り込んだ現場に変革を導くための実践書である。



えんたくん革命 1 枚のダンボールが ファシリテーションと対話と世界を変える

著：川嶋直、中野民夫
発行：みくに出版
定価：本体 1500 円＋税

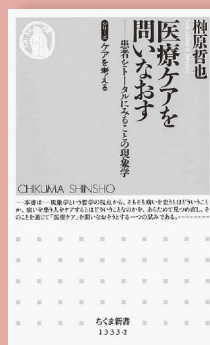
「えんたくん」とは直径が 1m 程の丸いダンボールの板。人々が円座になって、ひざの上に「えんたくん」を載せると「場」と「対話」が劇的に変化する。会議、教室、屋外など人々が集う場所で手軽に簡単に円卓（ラウンドテーブル）をつくれる魔法のような道具「えんたくん」の使い方、活用方法を紹介。本誌で連載した中野民夫氏が著者。



〈シリーズ ケアをひらく〉 異なり記念日

著：齋藤陽道
発行：医学書院
定価：本体 2000 円＋税

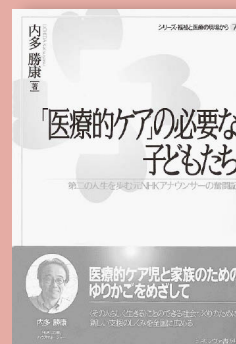
手と目で「見る」家族の物語。「聞こえる家族」に生まれたろう者の著者と、「ろう家族」に生まれたろう者の妻。ふたりの間に、聞こえる子どもがやってきた。身体と文化を異にする 3 人は、言葉の前にまなざしを交わし、慰めの前に手触りを送る。ケアが発生する現場からの感動的な実況報告。



〈シリーズ ケアを考える〉 医療ケアを問いなおす 患者をトータルにみることの現象学

著：榎原哲也
発行：筑摩書房
定価：本体 780 円＋税

病いを患うとはどういうことなのか、病いを患う人をケアするとはどういうことなのか。本書は、「現象学」という哲学の視点から医療ケアを見つめ直し、患者の心身をトータルに捉え、病いの経験を理解して寄り添うケアへ導く。医療者だけでなく、1 人の人間をトータルに捉えて理解することに関心のある人にも最適な「ケアの現象学」の入門書。



〈シリーズ 福祉と医療の現場から⑦〉 「医療的ケア」の必要な 子どもたち

著：内多勝康
発行：ミネルヴァ書房
定価：本体 2200 円＋税

元 NHK アナウンサーの著者が早期退職し、新たな働き場所として選んだのは、医療的ケア児とその家族のために「医療型短期入所」サービスを提供する福祉施設、国立成育医療研究センター「もみじの家」。ハウスマネジャーとしての奮闘を描くともに、医療的ケア児やその家族を取り巻く現実や課題を考える。



完全図解 世界一役に立つ 介護保険の本

著：東田勉
発行：講談社
定価：本体 1400 円＋税

介護保険制度に苦手意識を持つ読者は少なくないのではないだろうか。本書では、医療・介護・福祉に強い著者が、介護保険の仕組み、申請の方法、サービスの種類と費用、介護保険以外のサービス、介護を取り巻く現状などを、2018 年の改定も含め網羅的に解説した。テーマごとの図解やイラストで初心者からベテランの学び直しまでをカバー。